フリガナ	オサナイ	コウジ	
氏　名	小山内	幸治	
所　属	共生社会学科 ビジネス・ITキャリアコース		
職　名	教授（特任）		
最終学歴	上越教育大学大学院学校教育研究科教育方法コース修士課程修了		
主な経歴・職歴	大阪公立大学客員教授（兼） 前　滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科およびデジタルライフビジネス学科　学科長 　特別教授 元　秋田経済法科大学経済学部　教授		
研究分野	教育工学、情報処理教育、金融教育		
所属学会	経済教育学会、教科教育学会		
担当科目	「情報リテラシー」「情報統計学Ⅰ・Ⅱ」「情報処理基礎1・2」「情報処理応用1・2」 「プログラミング技術演習Ⅰ・Ⅱ」「情報数学」		
研究業績等 (直近5カ年)	〈論文〉 ・「高齢者の介護相談における経済的問題に関するケーススタディ」,共,令和7年3月,滋賀短期大学『研究紀要』No.50vol.2,pp.25-41 ・「現役世代の金融リテラシーが老後資金の準備状況に与える影響の検証」,令和6年11月,大阪公立大学『経営研究』2024, 75 (3), pp.17-35 ・「年金受給世代におけるリタイアメントプランの影響要因の検証：金融リテラシーを中心とした分析」,大阪公立大学『経営研究』. 令和6年4月, 74 (4), pp.35-59 ・「情報表現および金融リテラシーの違いが家計の予想に与える影響の検証」,共,令和4年,証券経済学会年報,57号,pp.46-68 ・「幼児教育におけるデジタル紙芝居を用いた金融教育の実践」,共,令和3年2月,滋賀短期大学『研究紀要』No.46,pp183-194 他		
社会活動 (直近5カ年)			

学生へのメッセージ

情報およびデータサイエンス関連科目を担当しています。
急激に進むデジタル化やAIの発展により、これからの生活やビジネスは大きく変化するといわれています。これらに対応するためには、デジタルやAIを様々に活用できるデジタルマインドを身につけることが重要になります。
本学の充実したカリキュラムの下で、それぞれの専門性とともにデジタル関連の理論やスキルも学ぶことで、デジタルマインドを育成し、これからの共生社会で活躍できる知識とスキルを身につけましょう。